

3. トピックス

(1) 敦賀発電所 防災訓練を実施

3月12日、敦賀発電所において防災訓練を実施しました。今回の訓練は、地震が発生したことにより使用済燃料ピットへの給水機能が喪失したことを想定し、事故収束に向けた現場対応能力の向上を目的として行いました。

訓練では、災害対策本部と水源確保現場との連携や迅速・的確な情報共有、消防自動車および可搬式動力ポンプを用いた使用済燃料ピットへの注水作業の対応などを確認しました。

敦賀発電所では、今後も継続的に訓練を実施し、更なる安全性向上に努めてまいります。



状況確認を行う災害対策本部長
(写真左)



水源確保訓練：防火水槽から可搬式設備を用いた注水作業の確認



(2) 美浜原子力緊急事態支援センター 支援資機材搬送訓練を実施

当社施設である美浜原子力緊急事態支援センター（以下、支援センター）は、緊急時における支援資機材の搬送手段の多様化を図っており、様々な訓練を行っています。この訓練の一環として、3月3日、徒歩による支援資機材の搬送訓練を実施しました。

今回の訓練では、道路崩壊により車両が通行不能となったことを想定し、センター員6名が支援の初動対応に必要な資機材（ドローン1式、小型ロボット1式、ロボット用無線中継器2台）を背負い、美浜町佐田から丹生までの9.2kmを約2.5時間かけて搬送しました。

今回の訓練結果は、徒歩による搬送可能な支援資機材の選定および所要時間の目安になるものと考えております。今後、より効果的に支援資機材の搬送ができるよう改善を図ってまいります。



▲徒歩訓練の様子
搬送時の状態（一例）▶



(3) 鯖江市区長会連合会さまへ敦賀発電所などの近況説明

3月2日、鯖江市区長会連合会さまの会長会において、当社より、6年前に営業運転を終了した敦賀発電所1号機の解体工事状況、敦賀発電所2号機再稼働に向けた原子力規制委員会による適合性確認審査への対応状況の他、敦賀発電所3,4号機増設計画や原子力防災についてご説明させていただいた後、鯖江市内各自治会の皆さまとのコミュニケーション活動（出前形式説明会“ふれあいトーク”，発電所見学会）についてもご案内させていただきました。

当社は、今後とも地域の皆さまとのふれあいを大切に、コミュニケーションを深める活動を継続してまいりますので、是非、自治会のお集まりなどで、ふれあいトーク、発電所見学会のご活用をお願い申し上げます。



鯖江市区長会連合会さま会長会において
挨拶をする立地・地域共生部長

4. コミュニケーション活動

(1) げんでんネクサス※懇談会を実施

3月9日、げんでんネクサス懇談会を実施しました。外部講師による「エネルギーについて考える」をテーマとした講演のあと、ネクサス委員の皆さまと意見交換を行いました。

ネクサス委員の皆さまからは、「エネルギー事情が深刻な状態にあることを知らなかった。計画停電などが実施されれば電気の大切さが実感できるのでは」、「学生たちにとってエネルギーや原子力について考えることは大事。そういう機会を作りたい」、「ネクサス懇談会のような他の業界の方との懇談会では、様々な意見を聞くことができ視野が広がる」などのご意見・ご感想をいただきました。

※当社は、嶺北地区の有識者の皆さまから当社の事業運営やエネルギー・原子力についてご意見を伺う「げんでんネクサス懇談会」を実施しています。



▲外部講師による講演の様子



◀意見交換の様子
web会議でご参加の委員も
いらっしゃいました（写真右奥）

ネクサスとは
「結びつき、つながり」を
意味します

(2) げんでんアドバイザー※当社施設見学会を実施

3月19日、当社施設である美浜原子力緊急事態支援センター（以下、支援センター）および敦賀総合研修センター（以下、研修センター）の見学会を実施しました。アドバイザーの皆さまには、支援センターではロボットや無線重機の操作訓練の様子、ドローンなどを見学していただき、研修センターでは敦賀発電所2号機の中央制御室を模擬した運転員操作訓練設備フルスコープシミュレータで福島第一原子力発電所事故のシミュレーションを行うとともに、事故後設置された電源車などを使用した復旧状況を体感していただきました。

アドバイザーの皆さまからは、福島第一原子力発電所事故の事象や他電力からの訓練の受入れなどについてご質問をいただき、関心をもっていただきました。

※当社は、地域の皆さまとのコミュニケーション活動を通じ、その中でいただいた貴重なご意見を事業運営に活かしていく取組みを進めています。この取組みの一つとして、各種団体から選出いただいた方による「げんでんアドバイザー懇談会」を実施しています。



▲無線重機操作訓練
見学の様子
（支援センター）



◀フルスコープシミュレータ
見学の様子
（研修センター）

5. 次世代層への教育支援活動

・小学校への出前授業を実施

3月5日、越前市吉野小学校において、6年生を対象に「放射線」の授業を行いました。児童の皆さんは、放射線の性質や種類について学習した後、教室や校門の放射線量測定などを体験しました。

児童の皆さんからは、「放射線がどこにでもある身近なものだということがわかった」、「レントゲン検査などで役に立っていることを知った」などの感想をいただき、放射線についての知識を学んでいただきました。



◀計測器



計測器を使って放射線を測定しよう！

6. 主な報道発表（2021年3月2日以降）

詳細な内容は当社ホームページ <http://www.japc.co.jp> をご覧ください。



◀こちらから当社ホームページを
ご覧いただけます

3月
30日

敦賀発電所1号機 第4回定期事業者検査の開始について

敦賀発電所1号機（沸騰水型軽水炉）は、2017年4月19日に廃止措置計画の認可を受け、廃止措置作業に着手しておりますが、2021年4月1日から約4ヶ月の予定で第4回定期事業者検査を実施します。

7. 敦賀総合研修センター 公開研修コースのお知らせ



◀こちらから敦賀総合研修センターのホームページをご覧ください

敦賀総合研修センターでは、新型コロナウイルスの感染予防対策を講じたうえで 29 コースの公開研修を計画しています。以下は申込み期限が近づいているコースの内容です。その他の公開研修コースの詳細、応募方法は QR コードまたは下記 URL から当社ホームページをご覧ください。

なお、当面の間、新型コロナウイルス感染防止対策の観点から、福井県以外の地域からの受講申込みをお断りしています。ご迷惑をおかけしますが、ご理解いただきますようお願いいたします。

☞ <http://www.japc.co.jp/tsuruga/tsuruga-training/index.html>

研 修 名	研 修 概 要	研修 期間	申込 期限
現場管理 コース	現場作業で必要となる労働安全・設備安全を確保するために必要な管理技術について、日常的に実践で役立つ事項および災害発生時に役立つ対処方法などを学びます。 本コースは原子力作業現場に限らず、一般作業現場においても有益な研修です。	5月 27日	4月 16日
安全体感 コース	高所作業や玉掛け作業、回転体への巻込まれなど作業の危険性や回転体に潜む危険を疑似体験することにより、安全意識の向上と危険回避能力の向上につながります。 原子力発電所に関係する現場の他に、一般の工場、工事現場でお仕事をされる全ての方に有益な研修です。	5月 27日	4月 16日
原子力 入門コース	原子炉での核分裂など原子力発電の基本的原理を理解するとともに、原子力発電所で使われる代表的な機械設備と電気設備の概要などを学びます。 核分裂や連鎖反応など、原子力発電の概念を学びたい方にお薦めします。	6月 8,9日 (2日間)	4月 28日
根本原因 分析手法 コース	事故やトラブルの原因分析に使われる SAFER (Systematic Approach For Error Reduction) を理解し、問題の根本的な原因を明らかにする手法を学びます。 本コースで学ぶ手法は原子力の現場だけでなく、一般産業のあらゆる場面でも活用できます。	6月 9,10日 (1.5日間)	4月 30日
原子力 エネルギー コース	エネルギー資源を海外に頼っている我が国の現状を理解し、福島第一原子力発電所の事故後の地球温暖化への対応を含めた我が国のエネルギー政策について学びます。	6月 10日	4月 30日

公開研修に関する
お申込み・お問合せ先

敦賀総合研修センター（敦賀市^{つみ}番見165号9番地6）
電話：0770-21-9700 FAX：0770-21-9726（応募申込専用）
メールアドレス：tsuruga-tr-center@japc.co.jp

敦賀総合研修センター ▶



げんでんふれあいギャラリー展示のお知らせ



◀こちらから げんでんふれあいギャラリーのホームページをご覧ください

◆逸遊会 気の向くままに楽しく描こう会！ 3月30日（火）～4月4日（日）

逸遊会（代表：杉田 司子 様）の3名の皆さまによる絵画作品 33 点を展示しています。水彩やアクリルで表現された風景画や静物画、抽象画などをぜひご覧ください。



◆長谷 俊雄 作品展 第三回隙間に生える植物展 4月6日（火）～11日（日）

長谷 俊雄 様による3回目の植物展です。わずかな隙間に力いっぱい生えているアジサイ、セイヨウタンポポをはじめとした植物の写真 400 点を展示予定です。

◆谷本 勝美 作品展 現代美術 箱シリーズ 4月13日（火）～18日（日）最終日は16時まで

谷本 勝美 様による現代美術の作品 30 点を展示予定です。ペットボトルやヨーグルトの蓋、煙草の箱などを使って制作されたリサイクル作品を、ぜひご覧ください。



◆令和2年度「青少年からのメッセージ・青少年へのメッセージ」図画・ポスターの部入賞作品展

4月20日（火）～25日（日）最終日は15時まで

青少年健全育成敦賀市民会議（会長：原 幸雄 様）主催の図画・ポスターの入賞作品展です。「明るく楽しい家庭や学校生活」「住みよい町づくり」などをテーマに敦賀市の小中学生や高校生、一般からの 1,895 点の応募の中から入賞作品 65 点を展示予定です。



感染防止徹底宣言ステッカーを取得しています

お問合せ

げんでんふれあいギャラリー 敦賀市本町2丁目9-16
フリーダイヤル 0120-749-201 FAX 0770-25-5603
開館時間 10:00～16:30※ 休館日 12月29日～1月3日
※新型コロナウイルス感染予防対策のため、開館時間を短縮しています。
☞ <http://www.japc.co.jp/tsuruga/fureai/event/index.html>

本資料の作成元・お問合せ先：日本原子力発電株式会社（略称：げんでん）敦賀事業本部 立地・地域共生部

TEL: 0770-25-5713 住所：敦賀市本町2-9-16



「げんでんいんふおめーしょん」は おかげさまで 200 号！（2004年9月1号発行）
これからもよろしくお願いいたします

2021年4月2日

No.200

げんでん いんふおめーしょん 4月号

1. 敦賀発電所の状況（2021年4月2日現在）

プラント（炉型）	状 況
1号機（沸騰水型） 	●2017年5月15日より廃止措置工事実施中（廃止措置期間：24年） ○2015年4月 営業運転終了 ○第4回定期事業者検査中（2021年4月1日～7月下旬予定） ○補助ボイラーおよびコールドエバポレーター解体工事中（2021年2月22日～） ○タービン補機冷却系熱交換器他解体工事中（2021年2月22日～） 廃止措置とは、運転を終了した原子力発電所を解体・撤去し、これに伴い発生する廃棄物を処理・処分し、更地にするまでの一連の作業・措置のこと。
2号機（加圧水型） 	電気出力 116.0 万 kW, 1987 年 2 月 17 日の営業運転開始以降の総発電電力量 1922 億 9908.3 万 kWh ●2011年8月29日～ 第18回定期検査中 ○福島第一原子力発電所事故を踏まえた安全対策を行っています。 ○2015年11月5日に新規規制基準への適合性確認審査のための申請を行い、現在審査対応中です。対応状況は、以下をご覧ください。

= 敦賀発電所2号機の新規制基準への適合性確認審査の状況について =

原子力規制委員会による審査は、敷地内破砕帯評価と地震動評価（地震の揺れ）の二つの論点について並行して進められています。

昨年2月の審査会合で、敷地内破砕帯評価に関して、発電所敷地北側にある断層（K断層）と2号機原子炉建屋直下にある破砕帯との関連性について当社から説明いたしましたが、当初審査資料に記載していたボーリングコアの肉眼による観察結果を削除し、詳細データである顕微鏡によるコアの薄片観察結果のみの記載に変更したことについて、不適切であるとのことご指摘を受けました。

このご指摘に対しては、その後の審査会合において記載の変更に至った経緯や理由、資料作成業務の改善点などを説明した結果、適合性確認審査が継続されることとなり、また審査とは別に、原因分析の内容や業務の改善状況について、原因調査分析に係る検査（品質保証に係る検査）の中で確認していくこととなりました。現在、品質保証に係る検査において内容確認が進められており、今後、報告書として取りまとめてまいります。

また、敷地内破砕帯評価と地震動評価（地震の揺れ）については、審査資料の準備を鋭意行っており、準備が整い次第、適合性確認審査を再開いただきたいと考えております。

当社は、引き続き、品質保証に係る検査ならびに適合性確認審査について、真摯に対応してまいります。

2. 敦賀発電所3, 4号機準備工事の状況（2021年4月2日現在）

現在、原子炉建屋背後斜面の緑化管理等の建設予定地維持管理およびコンクリート製造・供給プラントの設備維持管理等を継続して行っています。



建設予定地の状況（2021年3月26日撮影）